

デジタル版 すいせん図書 第217回 平成25年7月

この図書は全国学校図書館協議会の速報版等を参考にして選定したものです。
このすいせん図書は長野県優良図書研究所であっせんしますので、ご利用ください。

★ すいせん図書 その1 ★

小学校低学年(1・2年)向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
くものちゆいえこ (PHPとっておきのどうわ)	森川成美(作) 佐竹美保(絵) PHP研究所 2013年2月 1,155円	古道具屋にすんでいる小さなくもの女の子が、新しいすみかに選んだのは置き時計。止まって未来への希望が持てない置き時計のために、白い糸をかける。小さなくもの視点で描かれているところがおもしろい。 79p・22cm・913
おみまい、おことわり?	ボニー・ベッカー(作) ケイディ・マクドナルドデントン(絵) 横山和江(訳) 岩崎書店 2013年1月 1,365円	ひどいかぜをひいてぐったりのクマ。そこへネズミがお見舞いにやってきました。何とかクマを元気にしたいと、にぎやかでおちゃめなネズミがお手伝い。それなのに、不器用なクマとトラブルばかり。それでも仲良しになるお話。 32p・25×28cm・933
ともだちはなきむしなこいぬ	上條さなえ(作) いとうみき(絵) 金の星社 2012年11月 1,155円	なごみちゃんのおうちにやってきた、チワワのレオン。レオンの顔にある二ほんせんのことを、なごみちゃんはからかいます。しかし、さんぽに出かけたある日、大きな犬が、なごみちゃんとレオンをおそいます。レオンの顔の二ほんせんは…。 94p・22cm・913

<p>ふしぎなやまびこしゃんかん</p>	<p>中島和子(作) 秋里信子(絵)</p> <p>金の星社 2012年11月 1,155円</p>	<p>町はずれにひっそりとたつ写真屋さん。おじいさんが、お客さまの来るのを待っていた。おじいさんのために、お客さまを呼ぼうと、孫娘のゆいちゃんがポスターをかくと、お客さまがやってきて、写真を撮る。そこから不思議なことが起こっていく。</p> <p>94p・22cm・913</p>
<p>ノウサギとハリネズミ (ランドセルブックス)</p>	<p>W・デ・ラ・メア(作) はたこうしろう(絵) 脇 明子(訳) 福音館書店 2013年3月 1,260円</p>	<p>この話はグリムの昔話を再話したものである。ノウサギとハリネズミがかけっこをし、知恵をはたらかせたハリネズミが最後に勝つという話。ノウサギとハリネズミのやりとりがおもしろく、絵本ではあるが、読みごたえのある本である。</p> <p>32p・24cm・933</p>
<p>みどりのスキップ (安房直子名作絵童話)</p>	<p>安房直子(作) 出久根育(絵)</p> <p>偕成社 2013年1月 1,260円</p>	<p>みみずくが主人公となるお話が珍しく、良い。桜林の花かげちゃんを守ろうとするみみずくの気持ち、しかし、トットトットとやってくるみどりのスキップ。桜の季節が終わり、新緑の季節がやってくることを表したお話がとても良い。</p> <p>41p・22cm・913</p>

小学校中学年(3・4年)向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
ねこの郵便屋さん (いのちいきいきシリーズ)	中村翔子(作) たごもりのりこ(絵) 佼成出版社 2013年2月 1,365円	「このねこ、どなたか、飼われていますか？」老夫婦は、久しぶりに家に帰ってきたねこのミルクに手紙を託します。すると「うちのさくらです。」と返事が届きます。老夫婦と幼い姉弟のふたつの家庭を不思議な縁でむすんだねこのお話です。 95p・22cm・913
春の海、スナメリの浜 (いのちいきいきシリーズ)	中山聖子(作) 佼成出版社 2013年3月 1,365円	春休みをスナメリの見られる海岸の近くのおばあちゃんの家ですごす由良。友だち関係で悩み、笑わなくなっていた由良が観察を続ける大崎さんやスナメリと出会うことで、自分に自信を取り戻し変わっていく。 96p・22cm・913
かあちゃんの取扱説明書	いとう みく(作) 佐藤 真紀子(絵) 童心社 2013年5月 1,260円	かあちゃんの扱い方をマスターしたら、おこづかいもおやつもぼくの思い通りになると考えた哲也。かあちゃんの取説を作るうちに、意外な一面を見つけていく。最後はやっぱりかあちゃんおそるべしと脱帽する家族の心温まるストーリー。 151p・22cm・913
ジャコのお菓子な学校 (文研じゅべにーる)	ラッセル・オスファテール(作) 風川恭子(絵) ダニエル遠藤みのり(訳) 文研出版 2012年12月 1,470円	お菓子を食えることが大好きなジャコ。ある日、図書館でクッキーの作り方の記事に出会う。作り方をすべて書き写し、一人でクッキーを作ったジャコは、おじいちゃん、お母さん、友達にお菓子を作っていく。夢を一つずつ実現していくジャコ！ 167p・22cm・953
タネオがきた(文研ブックランド)	すとうあさえ(作) 福田岩緒(絵) 文研出版 2012年5月 1,260円	病気のひいじいをおいて東京に引っ越すことになったタミオ。ひいじいがか大切にしていたクヌギの実が東京でいっぱい芽を出したら、きっとよくなると信じてまわりの人たちを巻き込み、タネをまいていく。ひいじいとタミオの心のつながりを感じます。 127p・22cm・913
チェロの木	いせ ひでこ(作) 偕成社 2013年3月 1,575円	木を育てていた祖父、チェロ・ヴァイオリンを作る父。父がぼくのチェロを作ってくれた。音に夢中になった。ぼくは祖父や父の跡はついていないが、チェロから響く音にそこにはいない人を感じている。時をこえた心のつながりが感じられる。 39p・29cm・726

小学校高学年(5・6年)向け

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC
<p>狛犬の佐助 迷子の巻 (ノベルズ・エクスプレス)</p>	<p>伊藤 遊(作) 岡本 順(絵) ポプラ社 2013年2月 1,365円</p>	<p>幼い子どもだけが狛犬の声を聞けるという設定がおもしろい。過去も今も、人間が人間くさくて、共感できた。おしまいに、佐助が耕平のために、あえて危険に身をさらすところが感動的だった。このくらいの本を読みこんでほしいと願う。</p> <p>186p・19cm・913</p>
<p>劇団6年2組 (ティーンズ文学館)</p>	<p>吉野万理子(作) 宮尾和孝(絵) 学研教育出版 2012年11月 1,365円</p>	<p>卒業式の少し前、お別れ会で劇をやることになった6年2組。なんとか探してきた台本でスタートしたものの、配役でもめ、セリフでもめ、問題が山積みに。「チームふたり」シリーズの作者による、友情や団結、感動がギュッとつまった青春ストーリーです。</p> <p>226p・20cm・913</p>
<p>もっと生きたい! 臓器移植でよみがえった命 (ノンフィクション・生きるチカラ)</p>	<p>池田まき子(作) 岩崎書店 2012年12月 1,365円</p>	<p>臓器移植を知っていますか? お母さんの腎臓を移植、ドイツで亡くなった子の心臓を移植してもらった2人の女の子のことが書いてあります。かけがえのない「命のおくりもの」をどう考えますか? 医学の進んだ現在、人間の命に心を寄せる本です。</p> <p>179p・22cm・916</p>
<p>みっくん、光のヴァイオリン 義手のヴァイオリニスト・大久保美来 (感動ノンフィクションシリーズ)</p>	<p>こうやまのりお(作) 佼成出版社 2013年1月 1,575円</p>	<p>小学校6年生の大久保美来さんは、先天性四肢障害で右手のひじから先がない女の子。その美来さんが家族の支えで元気に育ち、祖母からもらったヴァイオリンでコンサートに臨んだ。作曲家佐村河内守との出会いは大きな挑戦の始まりとなる。強さと弱さ、希望と悩み。障害あるなしに関わらず、子ども達に勇気をくれる本。</p> <p>128p・22cm・916</p>
<p>ボニンアイランドの夏 ふたつの国の間でゆれた小笠原</p>	<p>佐藤真澄(作) 汐文社 2012年12月 1,470円</p>	<p>世界自然遺産に登録され、知名度が上がり観光客が増えつつある小笠原諸島ですが、小笠原を切り拓いたのは欧米人だったと知っていますか。歴史にもて遊ばれたという苦難を乗り越えて、その開拓者の子孫たちがボニンアイランダー(小笠原人)として現在も手を取り合って暮らしているのです。</p> <p>183p・20cm・913</p>
<p>暗やみの中のきらめき 点字をつかったルイ・ブライユ</p>	<p>マイヤリーサ・ディークマン(作) 古市 真由美(絵・訳) 汐文社 2013年4月 1,575円</p>	<p>幼い頃、父親の仕事道具のキリが目にはささり盲目になったルイ。たくさんの本を読みたかったが、読むことができず、王立盲学校の友だちと点字を作り出していく。現代の少年、レオが点字や楽ふで、新しい世界を得ていく。時代を超えての物語。</p> <p>223p・20cm・993</p>

中学生向け

<p>書名 (シリーズ名)</p>	<p>著者 出版社 発行年 定価(税込み)</p>	<p>内容・書評 ページ数・規格・NDC</p>
<p>おれたち戦国ロボサッカー部！ (ノベルズ・エクスプレス)</p>	<p>奈雅月ありす(作) 曾根 愛(絵) ポプラ社 2013年3月 1,470円</p>	<p>織田信長命の男子、ノブナガはいよいよ転校した三河の中学でロボットサッカー部に入部することに。そこで出会ったのは宿敵イエヤスだったー。個性豊かで、ちょっと変わった部員たちと繰り広げる、汗と涙の？青春物語。 245p・19cm・913</p>
<p>林業少年</p>	<p>堀米 薫(作) スカイエマ(絵) 新日本出版社 2013年2月 1,575円</p>	<p>流行に敏感で、周りの視線を気にし、表面的な格好良さに惹かれがちな生徒達にとって、本書は自己の内面を見つめ、自分の進路を考えるきっかけになるのではないかと。主人公の喜樹や楓に自分を重ね合わせ、自分の信じた道に進もうと決意させる。 189p・20cm・913</p>
<p>オフカウント</p>	<p>筑井千枝子(作) 浅妻健司(絵) 新日本出版社 2013年3月 1,575円</p>	<p>どこにでもいそうな学生の日常がゆったりとしたテンポで描かれてゆく。派手な展開や大きな事件は何も起こらないが、3人の仲の良い中学2年生と、それを取り巻く先輩や女生徒たちの思い、すれ違い、葛藤などが読者の共感を呼ぶ。 221p・20cm・913</p>
<p>わたしは目で話します 文字盤で伝える難病ALSのこと そして言葉の力</p>	<p>たかおまゆみ(作) 偕成社 2013年2月 1,260円</p>	<p>難病ALSによって身体の自由を奪われるという絶望的な境遇に陥った著者が、私達に訴えているのは、言葉がいかに大切であるかということだった。言葉を大切にすることは、自分も周りも大切にすることだと訴える内容は、強く心を打つ。 231p・19cm・916</p>

★学習図書★

書名 (シリーズ名)	著者 出版社 発行年 定価(税込み)	内容・書評 ページ数・規格・NDC・教科
図工のきほん大図鑑 材料・道具から表現方法まで	辻 政博(作) PHP研究所 2013年4月 2,940円	自分で何かを作りたい、表現したいと思ったとき、困った経験はありませんか。この本は、材料や道具の特徴と使い方、扱うコツ等がのっています。自分のイメージに近い表現をしやすくするヒントを得て、「つくる」楽しみを深めましょう。 63p・29cm・750
チョウのはなし かしこくておしゃれでふしぎな、 ちいさいのち	ダイアナ・アストン(作) シルビア・ロング(絵) 千葉茂樹(訳) ほるぷ出版 2013年2月 1,575円	世界におよそ2万種いるといわれるチョウ。美しいイラストでチョウの生態を紹介してくれる本です。自然界の知恵や不思議が、私たちの知的好奇心をくすぐります。様々なチョウの形や色がリアルに描かれています。 32p・29cm・486
増補改訂版 日本の国境 (【増補改訂版】平和・環境・歴史を 考える国境の本)	池上彰(監修) 岩崎書店 2013年2月 3,150円	尖閣諸島、竹島問題、沖縄の基地の問題。「ニュースでよくみるけど、どうして起きているの？」この本はそんな疑問に答えてくれます。池上彰が「日本の国境」というテーマで分かりやすく語る、今子ども達と考えたい平和・環境・歴史の本。 51p・29cm・329
みつけたよさわったよにわのむし (かがくのとも絵本)	澤口たまみ(作) 田中清代(絵) 福音館書店 2013年3月 945円	お母さんと一緒に虫探しをするみなちゃん。「虫って怖いし、気持ち悪い…。」そんな子でも虫を探しに出掛けたいような絵本です。虫の詳しい解説も載っているので、虫好きの子も楽しめちゃう。自分の身の回りにいる虫達がたくさん登場します。 27p・26cm・913
おひなまつりのちらしずし	平野恵理子(作) 福音館書店 2013年2月 1,365円	おひなまつりにお母さんにちらしずしの作り方を教わって、いっしょに作るなおちゃん。伝統的な料理に使われている個々の食材とその調理法が丁寧に描かれている。日本の食文化への興味と関心を高めてくれるかわいらしい絵本である。 31p・26cm・596